

「総合的な学習の時間」における新聞の活用

兵庫県立神戸高等学校 校長 竹内 弘明
教諭 大橋 宏記

1. 実践概要

本校では、「総合的な学習の時間」を、「神高ゼミ」と称して、実施している。そのうち、従来は1年次に「神高ゼミⅠ」として、「卒業生調べ」「現代社会の諸問題」「ディベート」「小論文」を展開し、2年次に「神高ゼミⅡ」として、教科的内容を強化する形で展開していた。

しかし、カリキュラムの変更、大学入試制度の変革の関係から、平成29年度からは2年次に2時間連続の形で展開することとなった。それに伴い、28年度は過渡期に当たるため、2年次に1コマを入れ、講座に分かれての探究活動を1年間行った。

27年度には、1年次に「コラムを読んでみよう」「私の！（ビックリマーク）」「賛否両論」「職業人」といった、新聞を使っての展開が数多く実践できたが、28年度はあまり実践できなかった。

ただ、新聞を使っての授業展開という形態は、29年度には、前期（4～9月）に数回取り入れる予定であり、今年度は2年間の展開を振り返り、次年度に向けての準備期間とした。

2. 新聞置き場と整理方法

今年度は、推進協議会からいただいた3ヶ月分の新聞は、地歴・公民科の方で保管し、授業の際に利用した。

3. 実践内容

(1) 「私の！（ビックリマーク）」「1週間を振り返って感じたことをまとめよ」

1週間分の新聞を読み、それぞれの曜日の最も興味・関心を持たせた記事を1つ選ぶ。そして、1週間を通してもっとも大きかった「私の！」を選び、その記事を選んだ理由などを、選抜してコメントさせた。



1週間分の新聞を読み、それぞれの日にあなたが最も興味・関心を持ったニュースを1つ選び、下の表に記入せよ。記入後、その中から最も関心の高かったものを1つ選び、さらに、表に記した1週間を振り返って感じたことをまとめよ。但し、読む際に、出来るだけ様々な新聞社のものを読み、比べ。

日付	新聞名	記事の見出し	記事の要約	選んだ理由
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
上記のうち、最も興味・関心が高かったものを1つ選べ。		月 日	記事の見出し	
1週間を振り返って感じたことをまとめよ。				

(生徒の感想)

・ 私の知らないことが世界中、日本中でたくさん起きていることがわかった。これに書いたほかにも、興味がひかれることが多かった。TVなどのニュースで知っていた出来事も、新聞には、TVよりも多くの情報量があり、TVのように聞き逃すということがないため、より多くの情報を手に入れることが出来た。

TVなどでは、大きな事件ばかりが報道されるが、新聞には、より多くの事件が載っており、今の社会の状況をより深く知れ

たりが報道されるが、新聞には、より多くの事件が載っており、今の社会の状況をより深く知れ

たと思う。(高1女子)

- ・ 1 週間を振り返って、私が興味を持った記事には、新しい開発や世界との関わりに関する記事を多く選んでいると感じた。(高1女子)
- ・ 新聞はほとんど読まないけれど、テレビと違って、読んでいる間に自分が考える時間があるので、記事を良く理解できて良いと思いました。(高1女子)

(2) 「コラムを読んでみよう」

- ① 見出しだけを空白にしたコラムのプリントを配布し、要約をさせた。
- ② コラムの見出しを考え、20 字以内で答えさせた。
- ③ コラムを読んだ上で、「外国語を学ぶこと」について、思ったことを書かせた。
- ④ コラムの見出しは、データとして一覧にまとめ、全員に提示した上で、記者が記した見出しを提示し、感想を指名して答えさせた。
- ⑤ コラムを読んだ上で、「外国語を学ぶこと」について、思ったことを書かせた。



(生徒の感想)

- ・ 外国語を学ぶことは、言葉だけでなく、その国の時代背景や、社会の仕組みを知ることにもつながると思う。他国に関心を持ち、そして、違いであったり、文化を認め合い、受け入れる柔軟性は持ち合わせるべきだ。未来につながることを、伝え合ったりするのも、外国の言葉を学ばなければ、無意味になる。これらのことを考えると、若者が、外国語を学ぶ、ということは、やはり大切になってくると考える。(高1女子)

(3) 「賛否両論」

次の㉗～㉔について、答えさせた。(解答はすべて裏の欄に書かせた。)

- ㉗ 「読売新聞」の記事を読み、次の問題に答えなさい。
 - 1) 人手不足に伴って引き起こされている問題を書き出さなさい。
 - 2) 人手不足問題を解決する方法として、何をあげているか、書きなさい。
- ㉘ 「朝日新聞」の記事を読み、次の問題に答えなさい。
 - 1) 人手不足問題が起きた原因を何ととらえているか、書きなさい。
 - 2) 人手不足問題を解決する方法として、何をあげているか、書きなさい。
- ㉙ 2つの記事を読み比べ、2つの新聞社の問題掘り下げ姿勢について、思ったことを書きなさい。
- ㉚ 「外国人技能実習制度」改正について、論じられた3つの記事を読み、この制度の存続について、あなたの意見を述べなさい。
- ㉛ 論題：「人手不足問題と外国人労働者問題①・②」を読み返し、今後の日本の雇用はどうあるべきか、「外国人労働者」という言葉を必ず使って、自分の意見を述べなさい。なお、文中に使用した「外国人労働者」という言葉には、下線を施しなさい。

**外国人労働者問題と
人手不足問題と
①**

人手不足 企業悩ます

近畿 土佐 型停工求人8倍
土佐家28店で営業休止

正社員化確保を図る

**外国人労働者問題と
人手不足問題と
②**

外国人実習生 危うい拡大

実態は安価な労働力

人権侵害後を絶たず

波蘭風問

2014.6.1 朝刊

人手不足 売り場 疲れていませんか?

新たな就労制度を

「そこが聞きたい」
外国人実習拡大の課題
島井一平氏
厚生労働省と連携する
全国ネットワーキング事務局

**外国人労働者問題と
人手不足問題と
③**

外国人労働者の受け入れは

定住も認め 地方衰退防げ

安易な数合わせ 負の影響

小野田隆弘氏

○ 次の(1)～(3)について、答えなさい。解答はすべて裏の欄に書きなさい。

(1) 「読売新聞」の記事を読み、次の問題に答えなさい。

① 人手不足に伴って引き起こされている問題を書き出さなさい。

② 人手不足問題を解決する方法として、何をあげているか、書きなさい。

(2) 「朝日新聞」の記事を読み、次の問題に答えなさい。

① 人手不足問題が起きた原因を何とらえているか、書きなさい。

② 人手不足問題を解決する方法として、何をあげているか、書きなさい。

(3) 2つの記事を読み比べ、2つの新聞はどの問題より下げ姿勢について、思ったことを書きなさい。

○ 「外国人技能実習制度」改正について、論じられた3つの記事を読み、この制度の存続について、あなたの意見を述べなさい。解答は裏の欄に記入しなさい。

(4) 「職業人」

「人はどうして働くのだろうか」～最近の新聞や雑誌に載った働く人の記事を読み、考えてみよう～、と題した授業を行った。

まず、新聞記事を読む前に「働く理由」を書かせた。次に、数種の新聞の職業人の記事や特集の記事を使い、それぞれの人の職業選択やそこで働く理由などを読ませた。そして、読後に改めて働く理由を書かせた。

【0】 記事を読む前に。

「人はどうして働くのだろうか。あなたなりの考えを述べて下さい。」

【1】 あげられた記事のうち、自分が関心を強く持てた記事2つを選びなさい。その上で、それぞれについて以下の項目について答えなさい。

「この記事を読んで、この人がどのような気持ちで働いていると思いますか。記事の内容を根拠に書いてみよう。」

【2】 【1】に取り上げた記事に書かれている人は、どうしてその仕事を選んだのだろうか、読み取ってみよう。

【3】 1つの記事を取りあげ、その記事に出てきた人の行動を読み、あなたはどう思いましたか。また、そう思った理由について述べなさい。(書き方：この人が〇〇をしたこと(行動)を、私は△△と思いました。その理由は～だからです。)

【4】 最後に再び。

「人はどうして働くのだろうか。あなたなりの考えを述べて下さい。」

第1学年 遠隔ホームルーム

「人はどうして働くのだろうか」
最近の新聞や雑誌に載った働く人の記事を読み、考えてみよう。

【0】 記事を読む前に、「人はどうして働くのだろうか。あなたなりの考えを述べて下さい。」

このプリントを配布後、まず「人はどうして働くのだろうか。」について、この上は紙をやる前は、どう考えているのか、書かせて下さい。

【1】 おげられた記事のうち、自分が関心を強く持った記事2つを選びなさい。その上で、それぞれについて以下の項目について答えなさい。「この記事を読んで、この人がどのような気持ちで働いていると思いますか。記事の内容を根拠に書いてみよう。」

時間がなければ一つだけでもいいと思います。

【2】 【1】に取り上げた記事に書かれている人は、どうしてその仕事を選んだのだろうか、読み取ってみよう。

同上

（選んだ記事の記号を記入）

【3】 1つの記事を選びあげ、その記事に出てきた人の行動を読み、あなたはどう思いましたか。また、そう思った理由について述べなさい。（書き方：この人が〇〇をしたこと（行動）を、私は△△と思いました。その理由は～だからです。）

それぞれの記事中の人物はなんらかのアクションを起こしています。それを見つけて、そのアクションをどう思うか、書かせて下さい。いくつも起こしている人もいますが、その場合はどれでもいいですが、職業を選択するためのアクションであればオーケーだと思います。

【4】 最後に再び、「人はどうして働くのだろうか。あなたなりの考えを述べて下さい。」

【0】で書いた文と【4】で書いた文はかかっているか見比べて下さい。そして、確認しながら、知ることで見方がかわってくる場合があることを認識させ、勝手に思い込みだけで、物事を一面的に捉えることがないように、言い添えてもらえればOKかと思えます。

最後に、職業に関する冊子を配布し、様々な職業があり、どのような資格がいるのか、などを参考に見なさい、と付け加えておいて下さい。

調 査 氏 名

(生徒の意識の変化)

【0】 今の世界では金がとても重要である。その金を確実に得るために人は働く。(高1男子)

【4】 自分が出来ることを身につけ実践し、それが誰かの手助けとなったり、人を幸せな気持ちにさせるためだと思う。(高1女子)

(5) 「報道写真の真価を問う」

写真の切り抜きをさせ、写真の有無で変わる情報の重み、新聞社による違いなどを考えさせた。

4. 実践後の生徒の変化

- ・ テレビ、ネットなどで知る情報と新聞の情報の差異を感じると共に、新聞を読む必要性を実感していた。
- ・ 新聞を読む習慣をつけようとした者が出てきた。中にはコラムや「天声人語」などの書き写しを自らに課す者も出てきた。
- ・ 自ら新たな視点を持って、情報を収集しようとする者が出てきた。

5. 今後の展望 ～「総合的な学習の時間」の中でのNIE教育の位置づけ～

① 「考える力」を身につけさせる

新聞を読むことで、「読解力」「情報収集力」「多面的な視野の確保」といった「考える力」を身につけさせる。

② 「考え抜く力」を身につけさせる

得た様々な情報を、「分析する力」「統合する力」、新たな課題・解決法を「創造する力」を身につけさせる。

③ ①②を実現するために、教材の研究、精選を行うと共に、それらが行える環境を整える。